

共用品推進機構だより 2020年8月13日(3)

目次

(12) 共用品推進機構関連記事

- ▽ 『日本ねじ研究協会誌』に執筆しました(連載)／星川安之
- ▽ 『厚生福祉』に執筆しました(連載)／星川安之
- ▽ 『高齢者住宅新聞』に執筆しました(連載)／星川安之
- ▽ 『日本経済新聞 交遊抄』に執筆しました／星川安之

(13) 賛助会員ニュース

- ▽ 「手洗いできた?AIが判断」／大日本印刷

(14) 各種催しとお知らせ

- ▽ 『チャレンジド・ヨガクラス』のご案内

(15) 製品関連記事

- ▽ 「ウイルスろ過の手洗い機 WOTA、水循環型で開発」
- ▽ 「バリアフリー型ドアクローザー」／リョービ

(16) サービス関連記事

- ▽ 「赤か青か音や震動でお知らせ 信号機対応のスマホアプリ完成」／日本信号
- ▽ 「固定回線なくても見守り可能 緊急速報メールも読み上げ」／ALSOK
- ▽ 「観光地、代わりに歩く トラル、スマホで疑似体験」

(17) その他、各種関連記事

- ▽ 「福祉施設牧場経営に挑む 障害者の工賃底上げ狙う」／月山福祉会

(18) 新刊紹介

- ▽『青春の架け橋 ある筋ジストロフィー症の青年の決意』
- ▽『「特別支援教育」って何？  
通知表がオール“もう少し”の学校心理士の考える』
- ▽『発達障害の子るーくんとお母さんのマンガ子育て日記』
- ▽『家庭と保育園・幼稚園で知っておきたい ADHD 注意欠如・多動症』
- ▽『発達障害グレーゾーンでも夢を実現して幸せに生きる  
僕がフリーランスのヨガ講師として活躍できるようになったワケ』
- ▽『支援と物語の社会学 非行からの離脱、精神疾患、小児科医、高次脳機能障  
害、自死遺族の体験の語りをめぐる』
- ▽『自閉症は津軽弁を話さないリターンズ  
コミュニケーションを育む情報の獲得・共有のメカニズム』
- ▽『高齢者・障害者へのマナーがわかる本  
令和時代のユニバーサルコミュニケーション』

---

(12) 共用品推進機構関連記事

▼『日本ねじ研究協会誌』に執筆しました（連載）／星川安之」

「日本ねじ研究協会誌（日本ねじ研究協会）2020年7月号」に『「ねじ」と「共用品」 その(4) 傘』を執筆しました。障害のある人たちの希望する傘が世の中にあるのかないのかを確認するために、傘専門店を訪問した記事です。

▼『「厚生福祉」』に執筆しました（連載）／星川安之」

「厚生福祉（時事通信社）2020年8月4日 第6585号」に「アクセシブルデザインの世界 第107回点字の名刺」を執筆しました。点字器を使えば、自分の名刺を点字付きの名刺に変えることができます。

▼『「高齢者住宅新聞」』に執筆しました（連載）／星川安之」

「高齢者住宅新聞（高齢者住宅新聞社）2020年8月5・12日 第594号」に『「アクセシブルデザイン」で知っている？ 第16回温水洗浄便座』を執筆しました。医療機器として開発された温水洗浄便座の普及促進には、使った人の

体験談も鍵になったようです。

▼ 『日本経済新聞 交遊抄』に執筆しました／星川安之」

「日本経済新聞 2020年8月3日(月)朝刊」の32面「交遊抄」に、「トランプ事件」のタイトルで執筆しました。

---

(13) 賛助会員ニュース

▼ 「手洗いできた？AIが判断／大日本印刷」

大日本印刷は新型コロナウイルスの感染予防のため、AI(人工知能)の画像解析技術で手洗いの方法を案内するサービスを9月に始める。備え付けのカメラで手洗いの様子を撮影してリアルタイムで解析。映像で正しい手洗いに誘導する。食品工場や医療施設、外食店などの導入を見込む。教育機関での導入も想定し、設定した手洗い時間に対してどの程度達成できたかを表示して手洗いを楽しませる「教育モード」も用意した。

(日経産業新聞 7月29日5面より)

---

(14) 各種催しとお知らせ

▼ 『チャレンジド・ヨガクラス』のご案内」

「対面クラス 7周年企画 埼玉県所沢クラスを開催します。  
参加者・サポーター募集のご案内です。

- ・主催：チャレンジド・ヨガ～視覚障がいの方のヨガ～
  - ・日時：2020年8月16日(日)午後2時～午後3時30分
  - ・場所：新所沢コミュニティセンター2階 大会議室(着替え室 完備)  
埼玉県所沢市緑町3丁目16番7号
- ※希望者は、新所沢駅で待ち合わせて送迎します。
- ・テーマ：古典ヨガ～初めてのヨガ哲学&椅子ヨガ

- ・参加費：お1人1000円  
※ガイドヘルパーさんなど同伴者とお2人で1500円
- ・申し込み方法  
「参加希望」として、  
[challengedyoga@gmail.com](mailto:challengedyoga@gmail.com) までメールでお申し込みください。  
お申し込み後2、3日以内に受付完了メールをお送りします。

---

## (15) 製品関連記事

### ▼「ウイルスろ過の手洗い機 WOTA、水循環型で開発」

WOTA(東京)は、水循環型の手洗い機「WOSH(ウォッシュ)」を開発したと発表した。ろ過や塩素添加、紫外線照射の技術を生かし、衛生的な水で手を洗うことができる。手をかざすと水が出る非接触の仕組みを導入。その場に水道がなくても使用できる。新型コロナウイルスなどのウイルスを含んでいても、ろ過の過程でフィルターにより除去できるという。水質をセンサーで監視する機能も搭載しており、殺菌し安全な水であることを確かめられる。スマートフォンのUV除菌機能も備えていて、洗った後も手をきれいな状態に保てる。

(日経産業新聞 8月3日16面より)

### ▼「バリアフリー型ドアクローザー／リョービ」

リョービのバリアフリーと意匠性にこだわった「ジオプロシリーズ コンシールド ドアクローザ」。ドア本体に埋め込むタイプのドアクローザーで、ドアの開閉速度を4つの区間ごとに調整可能。特に、閉め始めがゆっくり閉まるようにした。荷物の搬入時に便利で、車椅子での通行や高齢者も安心して利用できる。

(日経MJ 8月5日8面より)

---

## (16) サービス関連記事

### ▼「赤か青か音や震動でお知らせ 信号機対応のスマホアプリ完成／日本信号」

視覚障害者が街を歩く際に横断歩道での信号確認に苦勞する中、歩行者用信号の色などを音声や振動で知らせるスマートフォン用無料アプリが4月にリリースされた。アプリは日本信号(東京)が開発した「信 GO!!(しんごう)」。

- ①歩行者信号の情報を音声や振動、画面表示で確認、
- ②交差点名と方向を音声で確認、
- ③歩行者用の青信号の時間延長、ができる。

日本信号は、視覚障害者団体などの依頼で、アプリのデモも行う。

(点字毎日 7月16日1面より)

▼「固定回線なくても見守り可能 緊急速報メールも読み上げ／ALSOK」

ALSOKは遠隔地に住む家族に代わり、高齢者の見守りをするサービスを刷新する。高齢者宅に設置する機械をLTE(4G)対応とし、固定回線がない家庭でも使えるようにした。センサーで室内温度と湿度も計測でき、熱中症の危険度を知らせることもできる。ALSOKが提供中の高齢者の居場所を家族に知らせる「みまもりタグ」サービスと組み合わせ、親機からの距離で外出や帰宅を感知することもできるようになる。

(日経MJ 7月24日9面より)

▼「観光地、代わりに歩く トラル、スマホで疑似体験」

トラル(大阪)が提供するサービス「GENCHI」が、高齢者の需要をつかんでいる。外出が困難な人の代わりに、登録した人が観光地などに赴き、その様子をスマホなどで配信する。新型コロナウイルス禍でも、高齢者自身が現地を体験しているような気分を味わえるのが特徴。当日は専用ページで配信映像を視聴し、撮影角度や、追加で体験したいものがあれば、その場でリクエストできる。登録代理人には、コロナの影響でホテルを解雇されたり、ガイドの仕事がなくなったりした人たちも多いという。旅行に対する高齢者のニーズは強いだけに、コロナ下でも疑似体験旅行は一定のニーズがありそうだ。

(日経MJ 8月7日9面より)

---

(17) その他、各種関連記事

▼「福祉施設牧場経営に挑む 障害者の工賃底上げ狙う／月山福祉会」

山形県の月山高原で障害者の就労支援に取り組む月山福祉会が牧場経営を始めた。短角牛を完全国産の牧草で育てるという全国的にも珍しい取り組みだ。新型コロナウイルスの影響で障害者が手掛ける作業は軒並み受注が減少する中、地元有志の支援で工賃アップにつなげる。

(日経産業新聞 8月4日 15面より抜粋)

---

## (18) 新刊紹介

### ▼『青春の架け橋 ある筋ジストロフィー症の青年の決意』

障がいがあってもひとりの人間としての尊厳を守りたい…。昭和27年の当時、医師でさえ知らなかった不治の病・筋ジストロフィー症。不治の病を受け入れ、強い意志と深い愛情をもって生きた青年の愛と青春の感動の記録。

著：正木美帆(まさき・みほ)

発行：清風堂書店

本体価格：1,500円(税別)

ISBN：978-4-86709-002-2

### ▼『「特別支援教育」って何？

通知表がオール“もう少し”の学校心理士の考える』

子どもに寄りそう本当の支援の方法とは？ 発達障害で問題児だった学校心理士が、自身の体験や経験を綴るとともに、障害や課題と向き合う子どもの心を紐解き、子どもの将来や適切な支援のあり方について考える。

著：山内康彦(やまうち・やすひこ)

発行：WAVE出版

本体価格：1,500円(税別)

ISBN：978-4-86621-281-4

### ▼『発達障害の子るーくんとお母さんのマンガ子育て日記』

発達障害の小学生「るーくん」はとってもユニーク！るーくんのお母さんが迷い、考え、工夫しながら子育てをしてきた経験を4コマ漫画で描く。お母さんの

ひとこと、主治医のことばも掲載。

著：裕木晶子(ゆうき・しょうこ)

監修：山国英彦(やまくに・えひこ)

発行：星和書店

本体価格：1,400 円 (税別)

ISBN：978-4-7911-1051-3

▼『家庭と保育園・幼稚園で知っておきたい ADHD 注意欠如・多動症』

ADHD の子どもたちはどんなことが苦手で、本人は何に困っていて、どうしてほしいと思っているのか。そして、家庭や園では何ができるのか。子どもたちのエピソードを紹介し、発達凸凹の特性をわかりやすく解説する。

監修：田中康雄(たなか・やすお)

発行：ミネルヴァ書房

本体価格：2,500 円 (税別)

ISBN：978-4-623-08891-1

▼『発達障害グレーゾーンでも夢を実現して幸せに生きる

僕がフリーランスのヨガ講師として活躍できるようになったワケ』

発達障害(ADHD)を強みとしていくためには？ 自分と向き合うことや考え方をはじめ、生活をよくするために具体的にどういったことをすればいいかを説明する。日常生活ですぐ使える知恵も紹介。

著：岩渕玄太(いわぶち・げんた)

監修：西藤直哉(さいとう・なおや)

発行：セルバ出版

発売：創英社

本体価格：1,800 円 (税別)

ISBN：978-4-86367-580-3

▼『支援と物語の社会学 非行からの離脱、精神疾患、小児科医、高次脳機能障害、自死遺族の体験の語りをめぐる』

個人と社会のあいだに生じる「苦境への反応」を分析するとき、「物語（ナラティブ）は非常に有効な手段となる。苦しみや支援を扱う方法として、「ナラティブ・アプローチ」の可能性を探求する。

編著：水津嘉克(すいつ・よしかつ)伊藤智樹(いとう・ともき)

発行：生活書院

本体価格：2,500 円 (税別)

ISBN：978-4-86500-113-6

▼『自閉症は津軽弁を話さないリターンズ』

コミュニケーションを育む情報の獲得・共有のメカニズム』

前作「自閉症は津軽弁を話さない」から3年。方言を話すようになった自閉症児者の情報が寄せられた。再び調査を開始した著者が、コミュニケーションと社会的スキルに潜む情報の獲得・共有から生まれる関係性の変化を探る。

著：松本敏治(まつもと・としはる)

発行：福村出版

本体価格：1,800 円 (税別)

ISBN：978-4-571-42076-4

▼『高齢者・障害者へのマナーがわかる本』

令和時代のユニバーサルコミュニケーション』

想いはあっても知識がなければ、適切な対応ができない…。高齢者や障害者などあらゆる立場に立ったユニバーサルコミュニケーションを実践するために必要な知識とスキルを伝授する。

著：亀井亜希子(かめい・あきこ)

発行：セルバ出版

発売：創英社発行

本体価格：1,500 円 (税別)

ISBN：978-4-86367-583-4

---

(編集後記)

化粧品を買ったら、箱に点字が付いていました。フランスの **LA ROCHE-POSAY** /ラ ロッシュポゼという会社の製品。ご存じの方もいると思いますが、同じくフランスのロクシタンも化粧品のパッケージに点字をつけています。偶然かもしれませんが、六点点字を考案したルイ・ブライユはフランス人です。

日本のドラッグストアでも、点字付きの包装容器に入った化粧品を目にしま



す。以前、点字を使っている全盲の人に、「点字を使う人は少ないから、商品に点字をつけてもムダっていう人がいるけど、商品を手にとって点字がついてるとほっこりするよ」と言われたことがあります。点字がムダかどうかは、点字を使用する人が決めるのが良いと思います。(金丸淳子)

共用品推進機構公式サイト <https://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース <https://www.kyoyohin.org/blog/>

共用品推進機構公式 Facebook <https://www.facebook.com/kyoyohin/>